

高槻散策
マップ



takatsuki
kosobe
area

古曽部

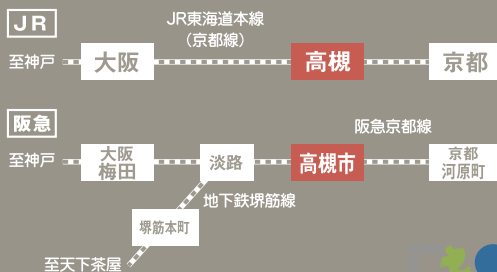
歌ごころを偲びつつ町歩き

希代の女流歌人・伊勢姫と、その作風を慕った能因法師。「百人一首」で知られる有名歌人が、歌の世界に没頭した地・古曽部には、今も趣ある歌道のロマンが漂う。



ACCESS

JR東海道本線「高槻」駅、阪急京都線「高槻市」駅をご利用ください。



公益社団法人 高槻市観光協会

〒569-0071 高槻市城北町2-1-18 エミル 高槻内2F ☎072-675-0081
<http://www.takatsuki-kankou.org>

高槻市 街にぎわい部 観光シティセールス課

〒569-0067 高槻市桃園町2-1 ☎072-674-7830
http://www.city.takatsuki.osaka.jp/rekishu_kanko/kanko/index.html

大阪ミュージアム構想

検索

大阪府では、まち全体を「ミュージアム」に見立て、魅力的な地域資源を内外に発信する「大阪ミュージアム構想」を推進しています。詳しくはホームページをご覧ください。

伊勢姫と能因法師ゆかりの地 文学の里・古曽部

平

安時代中期の女流歌人で三十六歌仙の一人でもある、伊勢姫は天皇や皇族、権力者らの寵愛を受け、波乱に満ちた人生を歩んだ才媛として知られる。伊勢寺は、伊勢姫の晩年の住まいの跡といわれている。



その伊勢姫の作風を慕って、古曽部に居を構えて歌道に専念したのが、平安時代中期に活躍した能因法師である。能因は当時、歌道の第一人者であった藤原長能に学び、後に勅撰和歌集に65首もの歌が入集、自撰歌集『能因法師集』や歌学集

『能因歌枕』などを表した平安時代有数の歌人。古曽部を拠点としながらも、漂泊の旅に出ては歌を詠み、その生涯を古曽部の地で終えたといわれる。

世のしがらみから逃れるようにして古曽部に移り住み、歌の世界に没頭した二人の有名歌人。今も町には、二人の足跡に触れることができる、ゆかりの史跡が残されている。

🍷 ショッピング・グルメ

- アクトアモレ ☎高槻阪急
☎ 芥川町1-2 ☎ 白梅町4-1
- 芥川商店街
芥川の街で楽しくお買い物。
- つぎの井
季節の食材を用いた和食処。
☎ 紺屋町1-1 グリーンプラザ1号館5F
☎ 072-681-4817

🏠 銘菓

「高槻城」

…三層の高槻城を模したあんと右近の七星紋をかたどる

- 井づつ
☎ 紺屋町8-2 ☎ 072-685-0735

「高槻太鼓」

…玉子たっぷりカステラ饅頭

- 菓匠花菓蔵
☎ 芥川町1-2 B-102 ☎ 072-681-2282

「どら焼」

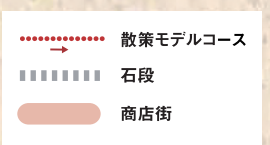
…ふんわりとした生地とつぶあんが調和

- 長岡京
☎ 郡家本町42 ☎ 072-682-0808

🏨 泊まる

- 亀屋旅館
☎ 芥川町2-11-3 ☎ 072-685-0122
- 高槻サンホテル
☎ 城北町2-12-6 ☎ 072-676-8787
- ワークホテル高槻
☎ 紺屋町8-7 ☎ 072-686-3288
- ワークホテルアネックス 天神の湯一
☎ 高槻町16-5 ☎ 072-681-1388
- W&Mホテル
☎ 城北町2-3-15 ☎ 072-662-3310
- 山水館
☎ 原3-2-2 ☎ 072-687-4567
- ホテルアベストグランデ高槻
☎ 芥川町1-14-1 ☎ 072-686-0001

高槻観光ボランティアガイドのご利用は、公益社団法人高槻市観光協会にお尋ね下さい。
☎ 072-675-0081
<https://www.takatsuki-kankou.org>



菅原道真をまつる上宮天満宮は、太宰府に次いで全国2番目に創建されたと伝える。天正年間に兵火に遭うが、のちに豊臣秀吉が再興したとされる。本殿脇に立つ鎌倉時代初期の作といわれる石灯籠は、国の重要美術品に指定されている。



伊勢姫が晩年を過ごした旧居の跡地に建つ。天正年間(1573-1586)に兵火で焼失したといわれる。本堂の西側には伊勢蘭堂があり、境内には、高槻城主であった和惟政の墓も。毎年1月には百人一首かるた会、12月には伊勢姫忌が催される。

平安時代中期の歌人、能因法師の墓といわれる。墳墓正面の顕彰碑は高槻城主・永井直清が建立したもので、碑文は儒学者・林羅山によるもの。周辺には、能因の吟轡を埋めたといわれる文塚や名水の井戸・花の井がある。



平安時代中期の歌人、能因法師の墓といわれる。墳墓正面の顕彰碑は高槻城主・永井直清が建立したもので、碑文は儒学者・林羅山によるもの。周辺には、能因の吟稿を埋めたと伝わる文塚や名水の井戸・花の井がある。

江戸時代後期から明治時代末期にかけて、古曽部町の五十嵐家4代が陶芸を営んだ古曽部焼の窯跡。当時、古曽部焼は庶民はもとより、京坂の文人や茶人たちにも愛された。作品はしろあ歴史館に展示されている。



■ 昼神車塚古墳

上宮天満宮参道の東側に位置する前方後円墳。昭和52年にイノシシやイヌ、角笛を持った狩人などの埴輪が出土し、古代の狩猟の様子を知



上宮天満宮参道の東側に位置する前方後円墳。昭和52年にイノシシやイヌ、角笛を持った狩人などの埴輪が出土し、古代の狩猟の様子を知ることができる古墳として注目を浴びた。現在は周辺が整備され、複製の埴輪が展示されている。

Timeline route from JR High Bridge Station (上宮天満宮) to JR High Bridge Station (伊勢寺):

- 上宮天満宮 (Ukyō Tenmangu)
- 伊勢寺 (Ise-dera)
- 不老水・花の井・古曽部窯跡 (Fushū no Mizu・Hana no Iwa・Kosōbu Kamaizumi)
- 昼神車塚古墳 (Hirakami Kurumazuka Kofun)
- JR 高槻駅 (JR Takatsuki Station)

Walking times between landmarks:

- 上宮天満宮 to 伊勢寺: 徒歩 10分
- 伊勢寺 to 不老水・花の井・古曽部窯跡: 徒歩 20分
- 不老水・花の井・古曽部窯跡 to 昼神車塚古墳: 徒歩 30分
- 昼神車塚古墳 to JR 高槻駅: 徒歩 7分